

政策目標6

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	政策目標6 政策目標7	免許返納後の買い物難民の問題も考えていくべき。北海道札幌市のSecomaが参考になるのでは。ぜひ今後のテーマとして皆さんとともに取り組んでいきたい。	小出支所	—
2	政策目標6 政策目標7 政策目標2	小出地区は、都市的な恩恵が少なく、台風や自然の猛威がくれば、道が塞がれるし、木が倒れて電線を切ればライフラインが寸断され、生活に大きな影響がある。こういったことまで含めて考えてもらいたい。小出小学校や避難所へ避難する道がないので、道路整備も早急をお願いしたい。周囲では農家の高齢化により農地が荒地になってしまいうケースも見られる。農業法人の若い人が農業をやってくれているので、その方たちが撤退しないように、彼らにはいつも声かけて応援している。小さいことかもしれないが、そういうことも見据えていかないと、荒地地になる。これを自然だと言葉だけで考えてもらいたくない。	小出支所	総合計画は網羅的なものになってしまう部分もあり、その中で自然の大切さをうたっていくことになるが、現実自然の中で暮らし、自然を管理している方々の大変さについては認識し、具体的な施策の立案において配慮していかなければならないと考えている。
3	政策目標6	近年、地球温暖化による気象変動に伴う様々な災害が頻発しています。9月9日に台風15号が東京湾を直撃し、千葉県などが甚大な被害を受けました。茅ヶ崎市も今後予測される台風や集中豪雨による風水害などに備えて、防災対策やライフラインの確保に環境・下水道・建設・安全・防災などの関係部局が一体となった連携がますます重要になってくるものと思われます。	香川公民館	(アンケート)
4	政策目標6	千葉では台風15号で大きな災害が出ている。茅ヶ崎としても他山の石として防災体制の見直しをお願いしたい。	松林公民館	(アンケート)
5	政策目標3 政策目標6	聴覚障害者です。音声の情報が理解できない。災害の時に音声での情報がよく流れるが、文字情報とし届くものが少なくて困る。防災無線はわからないので、リアルタイムで文字情報を出してもらえないか。障害のある人もない人も笑顔で安心して快適に暮らせるまちづくりをしてほしい。財政が厳しいという話があった。福祉の面で優先的にお金を回してほしい。福祉環境づくりを整えてもらいたい。	市役所(9月21日)	リアルタイム情報については担当課に伝えます。いただいた提案の方向性はこちらも持っている。具体的なアイデアをこの場やその他、様々な場面でいただければと考えている。
6	政策目標6	ハザードマップに対して、どうい対策をしているのか、総合計画に出てこない。想定外といっても、想定しないといけない。そういった内容をいれてほしい。	市役所(9月21日)	総合計画は大きな方向性を記載することになっている。具体的な内容については実施計画の方で検討するため、そこで固めることとなる。
7	政策目標6	実施計画へのつながりとして、ハザードマップを入れてほしい。伝わらないのでは。	市役所(9月21日)	10年間の計画となっているため、柔軟に動けるように、幅を持って書いておくというものになるため、ハザードマップなどの具体的な内容を記載するのは難しいと思っているが、検討したい。
8	政策目標6	茅ヶ崎ゴルフ場について、民間に売却された土地は避難場所として確保できないと考えている。市が一定の面積を所有するなど何か対策を考えないと、市民の安全は守れない。骨子にはきれいな内容が書かれているが、実現は困難だと考えている。	体験学習センター	茅ヶ崎ゴルフ場については、所有は神奈川県と民間企業である。かなり大きい敷地であり多くの自然も残っていることから、市としても注目している。引き続き、神奈川県と交渉していく。3月に神奈川県が跡地活用事業者を募集すると聞いている。事業者決定後、茅ヶ崎市も協議の場に参加し、交渉していく予定である。
9	政策目標1 政策目標6	私は建設関係の仕事をしているが、小学校の建て替えをするのは当たり前だと思っている。コンクリート劣化のような、どこからもってきた話で議論を進めているというのは、職員の勉強が足りないのではないかな。私は、避難要支援者行動制度を勉強しているが、もっと行政も勉強すべきだと思う。計画書は立派なものだと思うが、せっかくいろいろ情報があって、市民も勉強していかなくてはならない中で、計画書の中に何も入れられないのか。行政はもっと勉強して実力主義で進めていくべきだと考える。お金がないからと言って事が済むと思ってもらっては困る。	小和田公民館	もっと勉強してまいります。
10	政策目標6	市民の方からご指摘ありましたが、火急の課題は安全対策であるという意見に同感しております。学校が川や海の近くにあり、浸水した時に逃げられる高い場所が近くにない。どう逃げればいいのか。学校に子供を通わせる身として常に心配です。市役所だけで考えれば良い問題ではない。逃げる方法が無い限り、子育て世代は茅ヶ崎市を選んでいけないのではないか。防災に対し、もっと市民参画を高めていけないか。	市役所(10月3日)	(アンケート)
11	政策目標3 政策目標6 政策目標-行政経営	1. 将来を見積もることは難しいが、迫り来る危機を明確に認識して、今から、その対応、リスクマネージメントを講じることが極めて重要。 2. 特に、令和の時代に必ず起こる人口激減と災害への対応は喫緊の課題。 3. 2040年、市の職員が半減した状況で、現在の福祉サービスを維持できるか。 4. 市の行政サービスを今から標準化して、ITとAIを活用していく政策を考えるべき。 5. 今後、市の職員には高い能力が求められる。頑張ってください。	ハマミーナまなびプラザ	(アンケート)